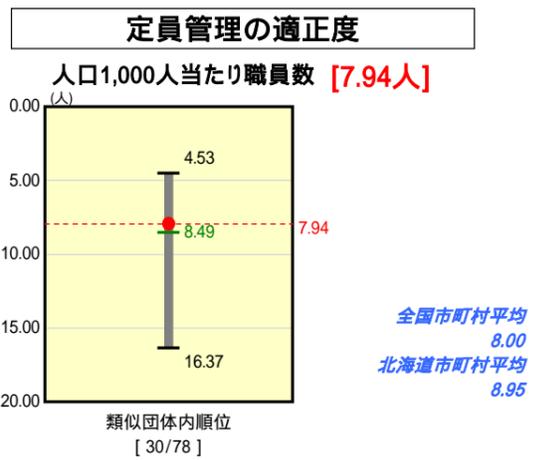
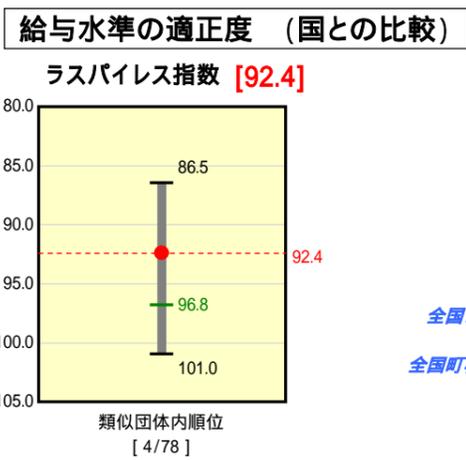
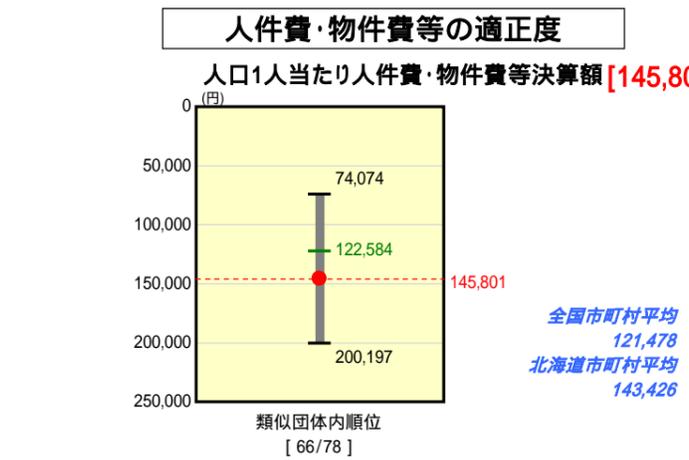
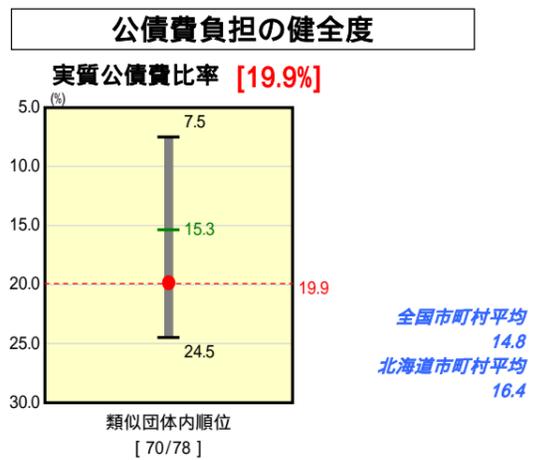
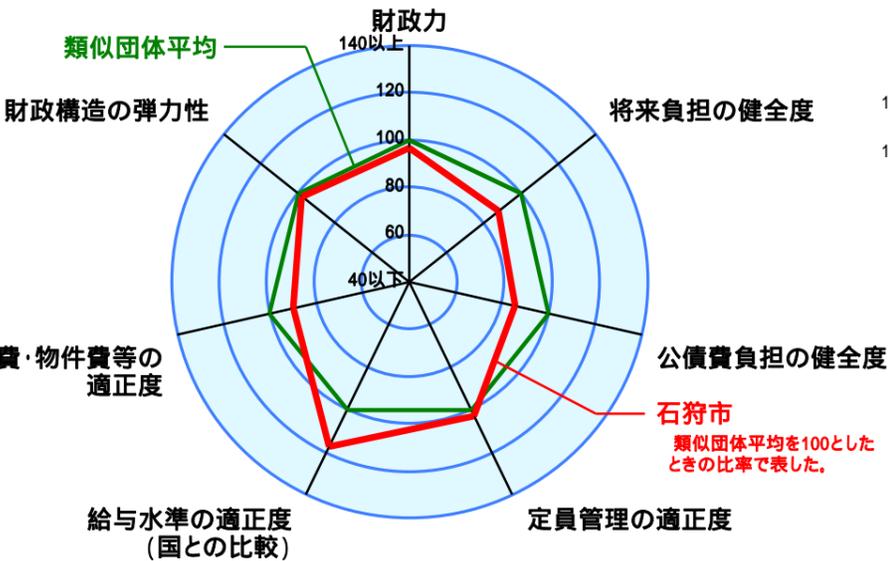
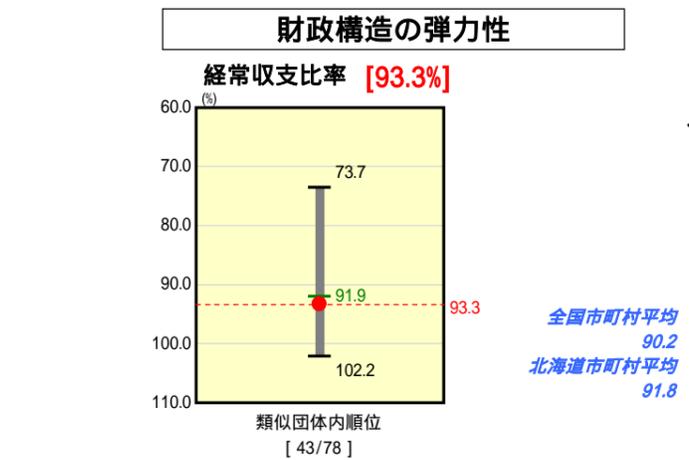
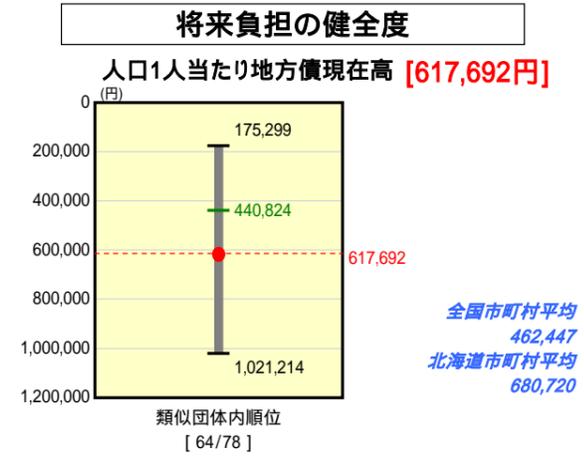
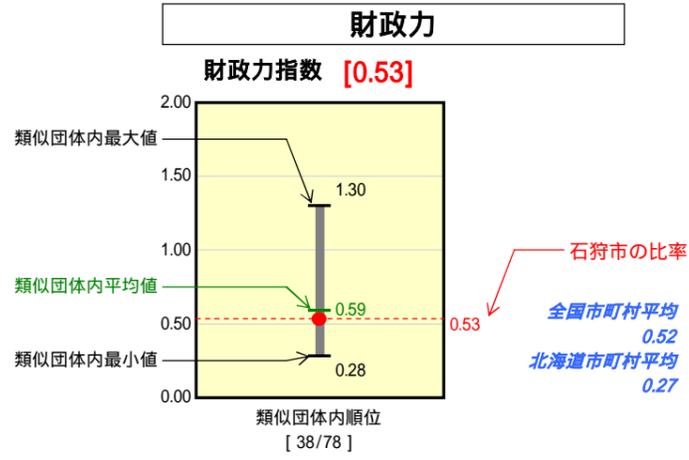


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

北海道 石狩市

人口	61,347 人	(H18.3.31現在)
面積	721.86 km ²	
歳入総額	32,541,068 千円	
歳出総額	32,517,925 千円	
実質収支	23,042 千円	



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数...財政力指数の高い石狩市(h16:0.64)と低い厚田村(h16:0.18)・浜益村(h16:0.13)が合併したことにより、全体としては、財政力指数が落ち込んだ形となった。今後新市として財政再建計画の下、財政基盤の強化に努める。

経常収支比率...扶助費及び公債費の増加により93.3%と類似団体平均を上回っている。公債費については、平成18年に低利率への借換を行い、また総合的な動きとしては、19年度以降の5ヵ年で経常収支比率を90%未満とする目標を掲げた財政再建化計画の取り組みを行うことにより、経常経費削減に努める。

人口1人当りの人件費・物件費等決算額...類似団体に対して高くなっている要因は、合併直後の決算であり、合併のスケールメリットが活かされていないことがあげられる。今後は、財政再建計画や定員適正化方針等による経費削減に努める。

人口1人当たり地方債残高...類似団体の平均を上回っている主な要因としては、市制施行時の大型公共施設の償還がピークを迎えているためである。今後は財政再建計画及び公債費適正化計画の下、市債の発行額を単年度あたり10億円以下に抑えるなどの数値目標を掲げ、残高の縮減に努める。

実質公債費比率...類似団体の平均を上回っている要因としては、市制施行に伴う大型公共施設の償還がピークを迎え、また下水道等の特別会計が支払う公債費に対する繰出しが増えてきていることなどが挙げられる。今後は財政再建計画及び公債費適正化計画の下、市債の発行額を単年度あたり10億円以下に抑えるなどの数値目標を掲げ、公債費の縮減に努める。

人口1000人当りの職員数・ラスパイレース指数...合併以前から類似団体平均を下回っている。今後とも、財政再建計画に沿った形で適正な管理を行う。